

**地域開発プロジェクト「Eco-Valley」に位置するスタジアムとして環境に配慮した設計・運営を実施
ITを活用して観戦の魅力を高めている他、付帯施設を含め多目的に活用することで稼働率を向上**

施設及び事業の概要

所在地	フランス ニース
開業年	2013年9月22日
収容人員	サッカー：36,178人、ラグビー：35,169人、コンサート等開催時：44,624人
付帯施設	VIPボックス44室（各部屋12～24名収容）、ラウンジ9室（55㎡～1,980㎡）、国立スポーツ博物館（5,000㎡のスペースに5万点の展示物や20万点の書類を保管。パリから移転し2014年6月開業）
ホームチーム	OGC Nice（2021-22シーズン：Ligue 1）
開発のスタイル	ニース市中心部から西に10kmほどの郊外に位置し、地中海から南北20kmに伸びる約10,000haのエリアを対象とした地域開発プロジェクト「Eco-Valley」内に立地。2011年2月より、オペレーターであるNice Eco Stadiumがニース市と期間30年のPPP契約を締結して同年8月に着工。
資金調達概要	PPP事業。総工費217.7百万ユーロ（IMF・IFSによる2011年時点の期中平均相場で換算すると約240億円）のうち、27.6%にあたる60百万ユーロを行政からの補助金で賄った。
地域への効果	ニース中心街北部に立地していた旧スタジアム周辺で試合開催時に引き起こされていた交通渋滞や混乱等が解消された。

スタジアム全景



(出所) Allianz Riviera Dossier de presse Décembre 2015

(出所) Allianz Riviera Dossier de presse Décembre 2015、Allianz Riviera Webサイト（最終閲覧日：2022年2月28日）<https://www.allianz-riviera.fr/en>、OGC Nice Webサイト（最終閲覧日：2022年2月28日）<https://www.ogcnice.com/en/>

欧州の「エコ・スタジアム」の先駆け

- 立体的に組み合わせた木材を外壁の支柱として使用することで通常のコンクリート等を用いた工法よりCO2排出量を3,000トン削減。
- 外の風を取り入れる自然換気システムや地熱の活用によってエネルギー消費量を抑える一方で、4,000枚のソーラーパネル（延べ7,000㎡）を屋根等に敷き詰め、自己使用量以上に発電可能。
- スタジアムに降った雨水は地下の3つの貯留槽に800㎡ほどを貯めることが可能で、芝生への散水などに活用。
- イベント等の開催時には、色分けされた箱でごみの分別回収が行われている他、区画ごとに照明の明るさを調整できる集中管理システムを導入して、電力消費量を最適化している。

ITの活用による観戦の魅力向上

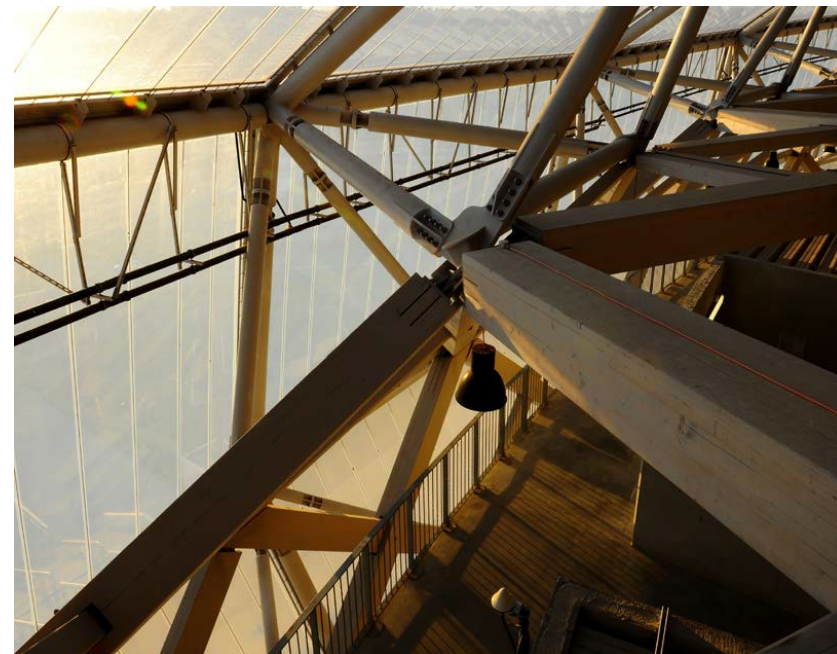
- High-Density Wi-Fiアクセスポイントが467ヶ所設置されており、最大10,000台の端末が同時に無料高速通信に接続可能。
- スタジアムの公式スマートフォン向けアプリが提供されており、試合前にはチケット購入や駐車場の予約、アクセスルートの案内を行う他、スタジアムではWi-Fiに接続することで、試合前の選手の様子や試合中のライブ映像、様々な角度からのリプレイ映像、選手や試合のスタッツを見ることが可能。

サッカーを中心とした多目的な活用

- フィールドは主にサッカーに使用されており、2021-22シーズンもリーグアンに所属するOGC Niceのホームグラウンドである他、2016年のUEFA欧州選手権（EURO）の会場となった。また、ラグビーでも使用されており、2023年のワールドカップでは会場の1つとなる予定。
- その他、コンサートやモーターショーを開催した他、開業から2年余りの間に延べ270回の企業イベントを開催している。

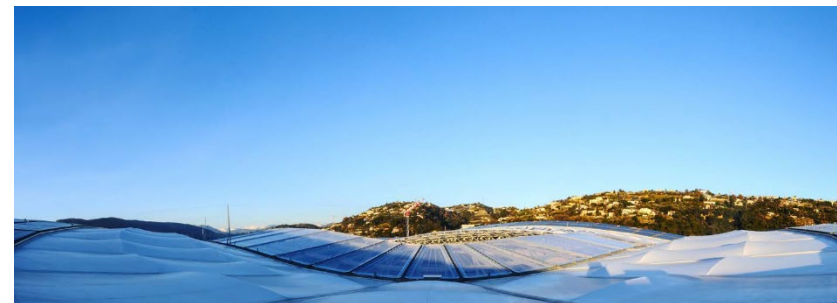
（出所）Allianz Riviera Dossier de presse Décembre 2015、VOGO 2017年12月15日付プレスリリース、Allianz Riviera Webサイト <https://www.allianz-riviera.fr/en>、Rugby World Cup France 2023 Webサイト <https://www.rugbyworldcup.com/2023/>

木材を用いた支柱



（出所）Allianz Riviera Dossier de presse Décembre 2015

ソーラーパネルを敷き詰めた屋根



（出所）Allianz Riviera Dossier de presse Décembre 2015